

【基本理念】	安全な水道水の確実かつ持続的な供給		
---------------	-------------------	--	--

【基本方針】	安全	強靱	持続
---------------	----	----	----

基本目標	基本施策	具体的な取組内容
【1. 安全で安心できる水道】		
1-1. 水質管理の充実	1) 原水水質の管理	<ul style="list-style-type: none"> 浄水場の原水及び京都府営水の受水点での水の定期検査 耐塩素性病原生物の指標菌検査
	2) 水質管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査計画に基づく検査の実施 配水管の計画的・継続的な洗浄作業の実施
	3) 鉛製給水管の解消	<ul style="list-style-type: none"> 鉛製給水管の布設替え
	4) 貯水槽水道の管理	<ul style="list-style-type: none"> 貯水槽水道設置者への適正な管理についての周知と管理指導 直結式給水の範囲拡大についての周知
1-2. 積極的な情報提供	1) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや広報誌の内容充実による積極的な情報提供 社会学習等の場の提供
	2) 信頼性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査計画に基づく検査結果の公表 水道週間に合わせた啓発活動
【2. 強靱で災害に強くたくましい水道】		
2-1. 水道施設の更新・耐震化の推進	1) 浄水場等の整備	<ul style="list-style-type: none"> 浄水場の整備 主要配水池・ポンプ場の耐震化等整備
	2) 管路の更新・耐震化	<ul style="list-style-type: none"> 基幹管路の更新・耐震化 老朽管の更新・耐震化
2-2. 危機管理の強化	1) 施設情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> マッピングシステムの活用による災害時の迅速な対応 水道施設台帳の作成
	2) 京都府営水と自己水の継続	<ul style="list-style-type: none"> 京都府営水の受水割合は、災害時を考慮し70%堅持 自己水は、災害時のバックアップとして一日最大給水量の35%相当確保 バックアップ体制の更なる検討
	3) 災害時に機能する体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 宇治市水道防災計画と水道防災マニュアルの継続的な見直し 災害時の危機対応のための訓練の実施
【3. 将来にわたって持続可能な水道】		
3-1. 安定した水運用	1) 水道施設の再編成	<ul style="list-style-type: none"> 将来の水需要に見合った水道施設の最適化 浄水場の統廃合 配水池及び配水区域の再編成
3-2 組織体制の強化	1) 人材の育成と技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> 内部・外部研修への積極的な参加 京都府営水道や近隣市町との技術交流による知見の拡充
3-3 環境負荷の低減	1) 省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 事業運営における省エネルギーの推進
	2) 水道工事のコスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> 新技術を取り入れた工法や二次製品の採用 ライフサイクルコスト縮減の継続
	3) 再生資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事における再生資源の利用の継続
3-4 効率的な健全経営	1) 民間委託の推進	<ul style="list-style-type: none"> 営業業務の委託拡大の検討 民間的経営手法の活用検討
	2) 広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> 京都府水道事業広域的連携等推進協議会への参加
	3) 財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略の継続的な見直し 保有資産の見直し等による財源の確保 債券運用の検討
	4) 水道料金制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 用途別料金体系から口径別料金体系への移行の検討 低所得者向け料金の在り方の検討 給水原価と供給単価の格差の縮小 キャッシュレス決済などの新しい支払い方法の検討